

【師岡小学校だより】 ～きらり 笑顔あふれる もろおっか～



もろおっか

令和5年1月10日
1月号
横浜市立師岡小学校
校長 川村 智子

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/morooka/>



明けましておめでとうございます 今年もよろしくお祈りします

校長 川村 智子

今年の冬休みは17日間と例年に比べ長い休みとなりました。年明けから天気の良い日が続き子どもたちも楽しい冬休みをすごせたのではないかと思います。

先日職員室で年末の行事についておしゃべりをしていた時のことです。本校の外国人講師のリカルド先生はエクアドル出身で、故郷ではクリスマスには家族が集って食事をし、新年になると町の人達が一斉に紙を詰めて作った実物大の大きな人の形の人形を道路で燃やし、燃えている人形を飛び越えながら「ハイ」と新年の挨拶をしてみんなで盛り上がるそうです。きっとその行事にはいろいろな意味が込められているのだと思いますが、その時理由までは聞くことができませんでした。一緒に話していた私たちは「日本はどちらかと言うとクリスマスはワイワイと集まって盛り上がるけれど、年末からお正月は家族で静かにすごす感じだよ。」とリカルド先生に伝えました。

年末のテレビで「日本のお正月を経験してみたい」と海外から日本へ旅行にきた家族のインタビューが放送されていました。「日本のお正月とは」と、意識することもなく過ごしていましたが、改めて地域を見回すと25日を境にクリスマスからお正月の飾りにガラッと変わり、門松が様々な所に置かれ少し改まった雰囲気になり、町全体が「新しい年を迎える準備」に入ります。そして「一年の計は元旦にあり」と言われるように、お正月料理や初日の出、初詣、新年の挨拶、書き初めなど新しい年を迎える昔からの伝統が今も各家庭で伝えられているのだと思います。新年を大事にし、少し気持ちを引き締めて新しい年を迎える日本の伝統はやはり素敵だなと思います。

さて令和4年は世界中が混乱の中でありました。新しい令和5年は日本も世界の国々にも明るい兆しを見ることができるとよいなと心から思います。そして今年こそマスクを外した子どもたちの笑顔が見られるようになることを願っています。新しい年、子どもたちと気持ちを新たに様々なことにチャレンジしていきます。引き続きの応援をよろしくお願いいたします。

